

[002] 九州大学極低温実験室だより表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/11017>

出版情報：九州大学極低温実験室だより．2，2001-06．九州大学理学部極低温実験室
バージョン：
権利関係：

編集後記

音楽や歴史のことを知らなかったり漢字が読めないと恥ずかしいのに、毎日使っているコンピュータや携帯電話の技術やその元になる科学について興味や知識がなくても恥ずかしくない。世間にはそういう風潮があるような気がします。

一般の人が持っている極低温のイメージはかなり事実と異なっていて、液体ヘリウムや液体窒素について知識がある人はほとんどいません。液体窒素の温度と北極の気温はどちらが低いかなど、考えたこともないという人がほとんどです。

ずいぶん前のテレビドラマで、人間の体に少しばかり液体窒素がかかっただけで、全身がカチカチに凍ってしまうシーンを見たことがあります。しかも、ほんの数秒後なのに全身が氷で覆われ、ツララが垂れ下がっていました。ドラマを悲劇的にするための演出かもしれないませんが、少し科学的知識がある人が見たら喜劇になります。文科系の人でもある程度は理科系の知識が必要です。

科学の研究についても同じことが言えます。研究者も自分の専門だけ詳しくれば離れた分野のことは知らなくてよいというわけにはいきません。自分の専門を他分野の人に分かりやすく説明し、逆に他分野に興味を持つことで新しい道が開けることがあります。

液体窒素と液体ヘリウムは理学、工学、農学、医学、歯学、薬学、その他の広い分野で利用されていて、この極低温実験室だよりも多方面の研究成果や役立つ情報が掲載されています。私自身、記事を通して他分野の研究内容を知り、研究の幅を広げることができればいいなと考えています。

(HY)

九州大学極低温実験室だより 第2号

2001年6月発行

発行者 九州大学理学部極低温実験室
発行責任者 網代芳民
編集責任者 矢山英樹
〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10番1号
TEL (092) 642-2701
FAX (092) 642-2553

印刷所 榊サガプリンティング
〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田909番
TEL (0952) 34-5100
FAX (0952) 34-5200